

- 県内の新興感染症の発生時や蔓延時の医療提供体制の強化に向けた取組みを充実させるため、富山大学から感染症専門医（1名）を配置

現状と課題

- ・ 新興感染症発生・蔓延時の初動対応では、医療提供体制の早期立上げと円滑な医療調整が重要であり、平時から県と病院の連携・協力関係の構築が不可欠
- ・ コロナ禍では、県内の指定医療機関に専門医が少なく、県の対策本部との意思疎通の齟齬を原因として医療調整に時間を要した事例や受入れが難航する事例あり

⇒富山大学から感染症専門の医師を受け入れ、感染症対策に関する取組みの充実を通じ、平時から関係機関との連携・協力関係を構築する必要

受入れ感染症専門医の業務内容

感染症発生動向速報の確認・助言
新型インフルエンザ等対策実地訓練の企画・運営
感染症マニュアルの改訂に係る事務
医療計画や感染症予防計画に基づく取組みへの助言 等



R7-8具体的取組

県民啓発や院内感染対策への助言
実働想定訓練シナリオ作成、助言
一類感染症発生時の対応等へ助言
患者搬送や医療調整対応への助言

事業実施により見込む効果

県と大学との協力・連携体制の構築
有事の際の早期の医療提供体制の立上げ・円滑な医療調整